

## 研究評価委員会におけるコメント

第 34 回研究評価委員会（平成 25 年 1 月 15 日開催）に諮り、以下のコメントを評価報告書へ附記することで確定した。

### 1. 低炭素社会を実現する革新的カーボンナノチューブ複合材料開発プロジェクト (中間評価)

- ◆ 今後、このプロジェクトの成果を事業者の方々に使ってもらえるように、特に有望な成果を取り上げて、既存の技術と比べた性能やコストの面のメリットを展示会等の機会を利用してより一層アピールを続けて欲しい。
- ◆ カーボンナノチューブに関して安全性試験の手法の開発においては、それが国際標準になるような取組が重要である。

### 2. 固体酸化物形燃料電池システム要素技術開発（事後評価）

- ◆ 固体酸化物形燃料電池を今後、どこに導入するのが一番優位性が発揮されるのか判断するためには、電気の効率だけでなく、熱の特性、ユーザー特性も良く把握する必要がある。

### 3. 超ハイブリッド材料技術開発(ナノレベル構造制御による相反機能材料技術開発) (事後評価)

- ◆ 材料・部材領域において、産業競争力強化を目指して産学連携を含む垂直連携を図るために、技術コンセプト主導で進められたプロジェクトで、世界トップクラスの独自性のある成果が生まれていると評価する。